

しずおかユニバーサルデザインの絆

きずな

気づき、**考**え、行動する。

in Hamamatsu

2009年12月4日 **金**・12月5日 **土**

会場/静岡文化芸術大学 浜松市中区中央 2-1-1
■開会式[4日] 10:45~ ■開催時間[両日] 11:00~17:30
※会場には駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

入場無料

UDスタンプラリー (5日 13:00~16:00)

会場内で、UD製品がもらえるスタンプラリーを実施!
総合受付にて、先着200名様にスタンプ台紙を配布します。

12/4 **金**

11:00▶12:00 記念講演「誰もが暮らしやすい
高齢社会への提言」



樋口 恵子氏
(評論家)

13:00▶14:45 パネルトーク「次の世代に今できること」

- コーディネーター/古瀬 敏氏
- パネリスト/樋口 恵子氏・赤池 学氏・原田 博子氏・高野 裕章氏

15:00▶16:30 特別講演「ユニバーサルデザインの来し方、行く末」

16:30▶18:00 UD研究発表 (IAUD研究開発企画部会成果発表)

18:00▶19:00 交流会 (会費:3,000円)

12/5 **土**

13:00▶16:00 市民参加イベント

浜松市内で活動する市民団体が楽しく
心あたたまるパフォーマンスを展開します。

★「川口直久スペシャルライブ」もあります。

光るパッチ
プレゼント



11:00▶12:00 しずおかユニバーサルデザイン大賞授賞式

13:00▶15:00 特別ワークショップ
「48時間デザインマラソン発表および表彰」

15:00▶15:30 UD学習発表

16:00▶17:30 UDコンサート&フィナーレ
ジャズビッグバンド「ブルーノーツ」のコンサート。
浜松特別支援学校ゴスペル部の生徒とのコラボ
レーションもお楽しみに。

●イベントの詳細はホームページへ <http://www.ud-kizuna.jp>

※イベントの内容は変更になる場合がございます。

■主催/UDフォーラム実行委員会、静岡県、浜松市、静岡文化芸術大学 ■共催/国際ユニバーサルデザイン協議会(IAUD) ■協賛/浜松商工会議所、
(財)浜松観光コンベンションビューロー、はままつ冬の蛍フェスタ実行委員会 ■後援/浜松市教育委員会、静岡県教育委員会、社会福祉法人浜松市社会福祉協議会、
静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社、テレビ静岡、静岡第一テレビ、静岡朝日テレビ、NHK浜松支局、K-MIX、FM-harol、中日ショッパー、びぶれ浜松、ぼど

お問合せ先 | UDフォーラム実行委員会事務局
浜松市企画部ユニバーサル社会・男女共同参画推進課 Tel.053-457-2364 FAX.053-457-2750

両日開催

企業・団体によるUD展示
企業活動やUD製品の
紹介コーナー

しずおか ユニバーサルデザインの絆 in Hamamatsu

2009年 2010年に浜松市で開催される国際会議に向け 豊かな暮らしにつながるユニバーサルデザインを、皆さんとともに考え、発信します。
12月4日 金・12月5日 土
会場/静岡文化芸術大学 浜松市中央区中央 2-1-1 入場無料

■開会式【4日】10:45~ ■開催時間【両日】11:00~17:30
主催/UDフォーラム実行委員会、静岡県、浜松市、静岡文化芸術大学
共催/国際ユニヴァーサルデザイン協議会 (IAUD)

- 4日 金
10:45~11:00 開会式
11:00~12:00 記念講演 「誰もが暮らしやすい 高齢社会への提言」
13:00~14:45 パネルトーク「次の世代に今できること」
15:00~16:30 特別講演「ユニバーサルデザインの来し方、行く末」
16:30~18:00 UD研究発表 (IAUD研究開発企画部会成果発表)

- 5日 土
11:00~12:00 しずおかユニバーサルデザイン大賞授賞式
13:00~15:00 特別ワークショップ 「48時間デザインマラソン発表および表彰」
13:00~16:00 「UDスタンプラリー」
15:00~15:30 UD学習発表
16:00~17:30 UDコンサート&フィナーレ

来場者 ヒンパッチェ プレゼント
会場: UDコミュニケーション・ゾーン (文化・芸術研究センター)

- 13:00~15:00 市民参加イベント
15:30~16:00 川口直久 スペシャルライブコンサート

両日 開催
会場: UDクリエイティブ・ゾーン (自由創造工房)
会場: UDアート・ゾーン (ギャラリー)

- 11:00~17:00 企業展示・UD製品展示・パネル展示・自動具展示
11:00~17:00 「まちなかのユニバーサルデザイン」を探して

【会場アクセス】浜松駅北口バスターミナルから
●遠鉄バス10番のりば (10分間隔で運行)
●浜松市循環まちバス くる・る 12番のりば
http://www.ud-kizuna.jp

問い合わせ
UDフォーラム 実行委員会事務局
静岡県県民部管理局ユニバーサルデザイン企画監
Tel.054-221-3153 FAX.054-221-2827
浜松市企画部ユニバーサル社会・男女共同参画推進課
Tel.053-457-2364 FAX.053-457-2750

誰もが暮らしやすい社会の実現へ

しずおかユニバーサルデザインの絆

来年10月、浜松市で開催予定の「第3回国際ユニヴァーサルデザイン会議2010」のプレイベント「しずおかユニバーサルデザインの絆 in 浜松」UDフォーラム実行委員会、静岡県、浜松市、静岡文化芸術大学主催、国際ユニヴァーサルデザイン協議会共催が4日・5日、浜松市中央区の静岡文化芸術大学で開催されます。同イベントでは、ユニバーサルデザイン(UD)によるまちづくりの意義を考える記念講演やパネルトークなど多彩なプログラムが予定されています。イベント概要とUDについてまとめました。

企画・制作/静岡新聞社営業局

ユニバーサルデザインとは?

UDは「すべての人のためのデザイン(構想・計画・設計)」であり、街づくりやものづくりなどを進めていく上で、年齢、性別、能力、言語、障害の有無など、人々が持つさまざまな特性や違いを認め合い、できるだけすべての人が利用しやすい、すべての人に配慮した環境や建築、施設、製品などのデザインを行っていくという考え方を指します。

さまざまなふれあいの中で快適に生活することができるとして、社会の実現が求められています。

県内でも 着実に普及

静岡県でも約10年前から、しずおかユニバーサルデザインを推進し、浜名湖ガーデンパーク(浜松市)やエコパ(袋井市)をはじめ、各駅前広場、ショッピングモールなど多くの公共、民間施設でUDに配慮した設計を施すなど取り組みが進んでいます。

UDの普及状況を把握するため、県では県民意識調査等を実施しています。この結果、県民の認識度は平成11年度は31.0%でしたが20年度は70.2%と、着実に増加してきています。また、県内企業・団体等の取り組みの割合は平成12年度の25.0%から18年度は37.5%と増加しています。

来年10月、浜松市で国際会議
国際ユニヴァーサルデザイン協議会(IAUD)、総裁寛



仁親王殿下)が主催する国際会議「第3回国際ユニヴァーサルデザイン会議2010 in はままつ」が来年10月30日から11月3日まで、アクトシティ浜松で開催されます。2006年に京都を会場に開催された第2回会議では、京都議定書を踏まえて地球温暖化による生態系や人類の活動への悪影響に對して、生態系に負荷をかけない社会環境づくりの大切さなどが提言されました。第3回会議では、UDを通して持続可能な共生社会の実現を目指すことをテーマに、国内外の参加者の意見交換と相互交流を通して、より質の高いUD社会の実現を目的としたさまざまな議論が交わされる予定です。

世界各国のUDを知る機会に

静岡県知事 川勝 平太



平成22年10月30日から11月3日まで、浜松市において「第3回国際ユニヴァーサルデザイン会議2010」が開催されます。この国際会議は、県と浜松市が協働して誘致したものです。県民や企業が世界各国の最新で最高のユニバーサルデザインに触れる絶好の機会であり、本県のユニバーサルデザインが一層飛躍する契機となるでしょう。今回のイベントは、この国際会議のプレイベントとして開催するもので、行政や企業の皆さんはもとより、子どもから大人まで家族みんなで楽しめる多彩な内容となっています。多数の皆様の御参加をお待ち申し上げます。

技術や人の交流を通じて市民生活にUDを

浜松市長 鈴木 康友



浜松市は、全国の市町村に先駆けてユニバーサルデザイン(UD)政策を実施してまいりまして、本年は着手から10年目を数える節目の年に当たります。この間、誰もが安全・安心で快適に暮らすことができるよう市の施策や事業にUDの理念を取り入れてきました。こうした中、来年の10月には国際UD会議がアクトシティ浜松を会場に開催されます。これまでの本市の成果を世界にアピールする好機であり、技術や人の交流を通じて産業や市民生活にUDの一層の浸透が期待されます。このプレイベントは、その本番への想いを込めて、討論をはじめ市民参加イベントの企画など盛り沢山な内容です。皆様お誘い合わせの上、2日間十分お楽しみください。

UDの考え方、浜松から世界へ発信を

静岡文化芸術大学デザイン学部長 河原林 桂一郎



ユニバーサル・デザイン(UD)とは、言葉通りすべての人のためのデザイン(構想、計画、設計)を意味します。一人ひとりの年齢、性別、能力、言語などの特性や違いに関わらず全ての人が利用できるデザインにしようという考え方です。UD先進都市浜松にて来年秋に開催予定の「第3回国際ユニヴァーサルデザイン会議2010 in はままつ」は、世界約30カ国から延べ12,000名が参加する大規模な会議になる予定です。全国初の「ユニバーサルデザイン条例」を施行した浜松からUDへの思いが、世界に向け発信されていくことを期待しています。

浜松での活発なUD活動に期待

IAUD理事長 成川 匡文



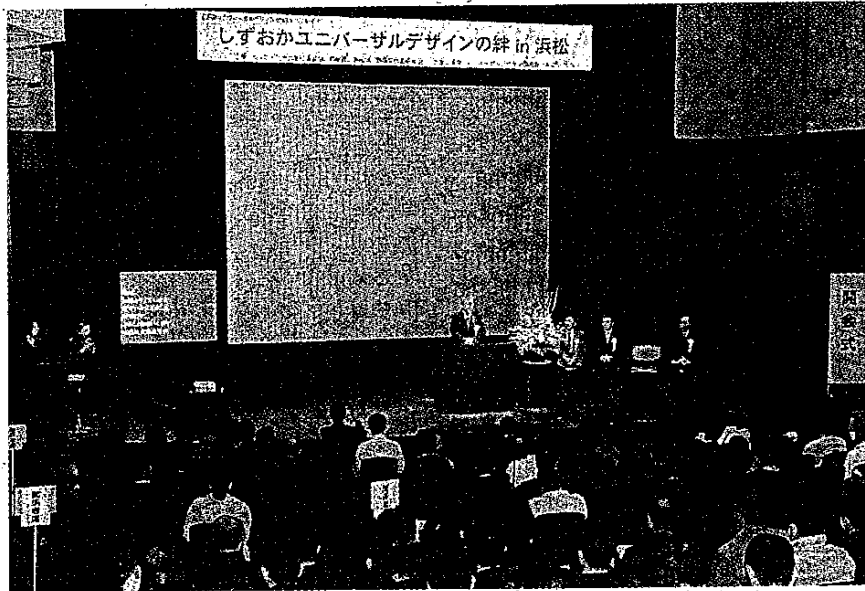
国際ユニヴァーサルデザイン協議会(IAUD)では、2010年秋に「国際ユニヴァーサルデザイン会議2010」を静岡県浜松市にて開催を予定しています。本日12月4日から開催される「しずおかユニバーサルデザインの絆 in Hamamatsu」は主催者のご厚意によりそのプレイベントとしても位置付けられています。IAUDでは、4日に「UD研究発表」としてIAUDの研究活動の紹介、5日にUDの実践的な活動である「48時間デザインマラソン」を特別ワークショップとして開催いたします。本プレイベントを契機に2010年の国際会議に向けて静岡県、浜松市の皆様とともに活発なUD活動を展開し、日本のUDを世界に発信していきたいと思っています。

in

浜松

開催記念特集

平成21年12月4日(金)
静岡新聞(夕刊)



ユニバーサルデザインの推進を呼び掛けた開会式—浜松市中区の静岡文化芸術大

UD 新たな可能性発信

浜松で啓発イベント

ユニバーサルデザイン(UD)のさらなる可能性を探り、県内外に発信する啓発イベント「しずおかユニバーサルデザインの絆(きずな)in浜松」(同実行委員会、浜松市など主催、静岡新聞社・静岡放送後援)が4日午前、浜松市中区の静岡文化芸術大で開幕した。同市で来年秋に開かれる世界最大のUD会議「第3回国際UD会議2010」のプレイベント。5日までの2日間、シンポジウムや最新のUD技術の紹介、UDコンテストなどを繰り広げる。

鈴木康友市長らが出席して開会式が行われ、杉浦政紀実行委員長(同市中区)が「UDとはすべての人を使い、考え、行動すること。一人一人がUDの素晴らしさに気づき、ものいひやまじゅうくりに取り組んでほしい」と呼び掛けた。続いて、評論家の樋口恵子さんが「誰もが喜ぶしやすい高齢社会への提言」と題して記念講演した。

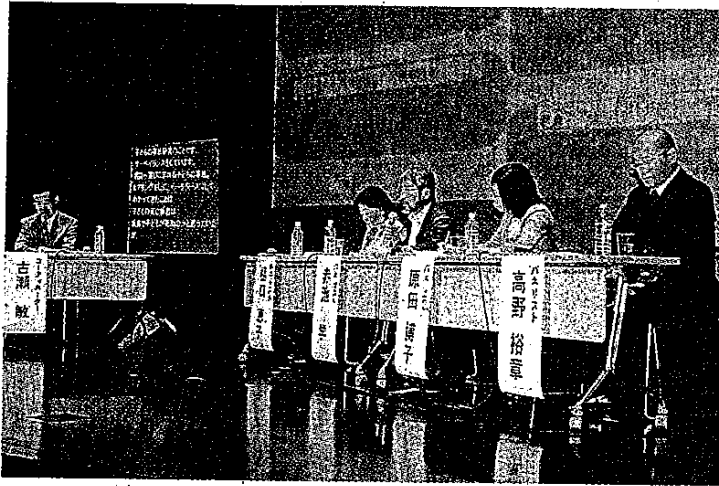
午後からは「次の世代に今できること」をテーマにしたシンポジウムを行うほか、米国のUD研究者が日米のUDの進展について発表する。

平成21年12月5日(土)

静岡新聞

UDで快適な社会実現

浜松でシンポジウム



新モデル創出に期待

ユニバーサルデザイン(UD)の啓発イベント「しずおかユニバーサルデザイン」の絆(きずな)in浜松(同実行委員会、浜松市など主催、静岡新聞社、静岡放送)が4日、浜松市中区の静岡文化芸術大で始まり、県内外のUDに取り組む企業や市民らが、UDの活用による「快適な社会」への理解を深めた。5日まで。

「次の世代に今できること」をテーマにしたシンポジウムで、UD総合研究所(東京都)の赤池学所長は、誤飲時の窒息を防ぐためにキャップに通気口を付けたペンなどのUD商品を紹介。「子供目線でものを作ると、高齢者や障害者にも優しいものができ、結果的にいろいろなビジネスにつながる」と分析し、「UDのまちである浜松市や静岡県には、ユニバーサルデザインの今後の可能性について意見を交わしたシンポジウム」浜松市中区の静岡文化芸術大

メーカーが社会的弱者と協力し、UDの新しいモデルを示してほしい」と期待した。

浜松市のNPOはままっ子育てネットワークびっぴの原田博子理事長は、インターネットなどを活用したUDの周知策を挙げた。富士宮市の職員は、バリアフリーパス

などを運行する同市の公共交通システムを説明した。

記念講演した評論家の樋口恵子さんは「これからの世界は、急激な少子高齢化を見据えた新たな文明を創造しなくてはならない。教育、労働、介護、医療など各分野で、米国のUD研究者ステイブ・デモス氏は、1990年代以降の日本のUDの発展の歴史を解説した。IAUD(国際ユニバーサルデザイン協会)の会員企業による研究発表も行われた。

平成21年12月6日(日)
静岡新聞

浜松UDIイベント閉幕

デザイン大賞を表彰

ユニバーサルデザイン
(UD)の可能性を考
えるイベント「しずおか
ユニバーサルデザイン
の絆(きずな)in浜松」
(同実行委員会、県浜
松市など主催、静岡新
聞社・静岡放送後援)
は最終日の5日、浜松
市中区の静岡文化芸術
大でUD製品のコンテ
スト表彰式などを行い、

閉幕した。同市で来年
秋に開かれる世界最大
のUD会議「第3回国際
UD会議2010」の成
功に向けた官民の連携
強化も確認した。
県の「しずおかユニバ
ーサルデザイン大賞」の
授賞式では、創意工夫を
凝らしたUD製品を考案
した各部門の入賞者が表
彰された。一般の部大賞
に選ばれた静岡文芸大
学院の松田優さん(同市
中区)は「機能を簡素化
した優れたUD製品は、
使う人の所作も美しくす
ることに気付いた」と話
した。

来年の国際会議を主催
するIAUD(国際ユニ
バーサルデザイン協議
会)が3～5日まで同大
で開催した「48時間デザ
インマラソン」の作品発
表も行われた。県内外の
デザイナーと障害者約50
人が5チームに分かれて
UD製品を発表し、障害
者が使いやすい調味料ケ
ース「うまみだね」がベ
ストデザイン賞を受賞し
た。
同市のジャズバンド
「ブルーノーツ」と県浜
松特別支援学校のショ
イントコンサートなど
も繰り広げられ、幅広い
世代の県民が楽しみな
がらUDへの認識を深
めた。

平成21年12月7日(月)

静岡新聞

住民の満足度高めたい



ユニバーサルデザイン(UD)をテーマにした国際会議「国際UD会議2010」浜松開催まで1年を切った。4、5日には浜松市内でイベントが開かれ、ものづくりまちづくりの可能性を探った。住民の認識、満足の度合いを引き上げ開催に臨みたい。

UDは米国の建築家ロナルド・メイヌ氏が1980年代に提唱、「バリアフリー」を一步進めて誰もが使いやすい製品、まち、環境をデザインしていく」といふ考え

方だ。県はこの考え方を、全国で初めて99年度から県政の基本的な考え方に位置づけ推進してきた。年齢、性別、能力、言語など互いの特性や違いを理解し尊重し合い、誰もが暮らしやすい空間づくりを目指し、行動計画も7期目に入っている。

10年が経過し、ハード面では歩道の幅、段差、傾斜の改善、エレベーターや案内看板の設置など、移動しやすい動線の確保が進んだ。公共施設への導入も広がり、富士山こども園の傾斜の緩い園路、県立総合病院の五感に訴える案内サインといっように、身近な所に浸透してきている。

産業分野では自動車メーカーが使いやすいシフトレバーを開発すれば、デパートやスーパー、ホテルといった商業施設でもUD仕様トイレ、高齢者や障害者のための駐車スペース、歩行誘導ブロックなどの整備が進む。

毎年実施しているデザインコンクールも若い世代が周囲のニーズを探る好機となっている。本年度は1500点余の応募があり、大賞は、時刻を香りでも知らせる目と耳と鼻の時計(小学生の

部)、歩行者も運転者も見やすい光線の信号機(中学生の部)、レバー一つで操作するラジオ(一般の部)と大胆な発想と気配りが光った。

一方で県民のUDの認識率は7割程度にとどまり、満足度も約4割と伸び悩んでいる。ペピーカーを使う子育て世代、トイレに介助が必要な高齢者など当事者が直面する不便さに、行政や企業が真剣に向き合わなければ向上は難しい。住民の提案や声を素早く施策

に反映する仕組みも必要だ。

高齢者と若者、障害のある人とない人などで、要望が異なる事態も出てくるだろう。調整には、地域をよく知るNPOなど住民の力も求められる。困っている人に声をかけ手を貸す「心のUD」の育成も、これまでに以上進めてほしい。

来年初の国際会議には30カ国から研究者や企業、市民1万2千人が集う。長寿社会に向けたビジネスチャンスでもある。